

映像文化の傾向

ナシエスとセンチメンタリズム

今と昔

「マジメなものは視聴率が上がらない」から
「企画としては成り立たない」とテレビのプロ
ロデューサーが歎いてみせた。が、向をおい
て「観る者の教に付き合わなくては、こつち
もオマンマが食えないからね。観る側の無責
任^注に付き合うしかない」と言い切る。映像の受
け手の側としては「無責任さ」を持ち出され
ても反論のしようがない。たしかに受け手の
側にも観る自由と拒否する自由とがあるにし
ろ、居向のテレビの前で食事をしていると、
つい流れてくる映像の洪水にのまれて、軽薄
短小なものに観るといふ形で加担してしまふ